



## 奥玉にゆかりの千葉栄さん・千葉浩さんに特別顧問を委嘱 地域づくりへの指導・助言「おくたまの応援隊」として期待！

R8.1.17

奥玉振興協議会では、令和8年新年交賀会の席上で、奥玉にゆかりのある千葉栄さん（元奥玉小学校長、奥州市）と千葉浩さん（元奥玉駐在所長、川崎町）の2名に対し「特別顧問」の委嘱状を交付しました。



元奥玉小学校長の千葉栄さん

お二人には地域づくり活動への協力や当協議会事業への指導、助言を期待しており、無報酬ですが、ご快諾を得ての委嘱となりました。

特別顧問には、これまで勝部修さん（前一関市長、奥玉出身）と河合純子さん（フリーアナウンサー、室根町在住）の2名を委嘱しており、これで計4名となります。

「奥玉の応援隊」となったお二人からは、「地域の皆様によろしく」とのお言葉がありました。



元奥玉駐在所長の千葉浩さん

## 宝築自治会と中日向自治会で「どんと祭」無病息災を祈願

R8.1.11~12

宝築自治会（吉田進会長）のどんと祭が、1月11日に宝築集落センター脇広場で地区民など30名ほどが参加して行われ、この一年の無病息災や家内安全を祈りました。

この日は、櫻森神社の祭主による神事に次いで吉田会長など関係者による玉串奉奠の後、子供会の代表者が清めの塩をまき、積み上げられた正月飾りなどに点火が行われ、燃え上がる炎を囲みながら参加者が新年の抱負を語り合っていました。



\*\*\*\*\*

中日向自治会（藤野守会長）でも恒例のどんと祭が1月12日になかひなた会館脇の広場で、地元地区民や消防団員など約50名が参集して行われました。

積雪と寒風の吹き荒ぶ中で会場準備が行われ、櫻森神社の祭主による神事、藤野会長など関係者の玉串奉奠の後、消防団員や地区民の見守る中、持ち寄ったしめ縄や正月飾りなどに点火されると勢いよく燃え上がっていました。

会場には、地元の木工作家として著名な熊谷和郎さんの制作による赤い鳥居に、干支の馬が装飾された手作り絵馬8個も飾られ、参加者の注目を集めていました。絵馬は、どんと祭終了後に午年生まれの参加者にプレゼントされました。



## 櫻森神社「どんと祭」袴姿の年男が富くじ入りの餅まき！

R8.1.12

櫻森神社恒例の「どんと祭」が1月12日に神社関係者や地区民、地元消防団員など約100名参加し、同神社境内で行われました。初めに神事として奥玉昌代宮司の祝詞奏上が行われ、次いで町下・天ヶ森地区内の各団体長や会社・事業所代表などが順に玉串奉奠を行い、参加者全員が無病息災や家内安全、五穀豊穡などを祈願。この日は強風のため、持ち寄ったしめ縄や正月飾り、古いお札などへの火入れは延期されました。

その後、恒例の餅まきが行われ、祝年を迎えた年男、小野寺博之さんと佐藤良一さんの2名が袴姿で社殿から富くじ入りの餅をまき、大吉賞①・②などの賞品が当たると歓声が沸き起こっていました。



櫻森神社境内での神事

富くじ入りの餅まき

## 大平自治会 新春祝年会「打ちばやし」や「長生きよさこい」で祝福

R8.1.11

大平自治会（加藤博幸会長）の新春祝年会が1月11日、大平集落センターで行われ、約50名の皆さんが参加し、親睦と交流を深めました。今年の祝年者は、満18歳、数え42歳、62歳（還暦）の11名で、当日参加された6名の方々に、それぞれ御礼と記念品が授与され、加藤会長からお祝いの言葉が贈られていました。

乾杯の後、祝謡や祝宴、アトラクションでは、根山打ちばやし保存会の皆さんの太鼓演奏、結の会の皆さんの「長生きよさこい」やサロンせせらぎの皆さんの「黒田節」など趣向を凝らした踊りが披露されたほか、景品の当たるビンゴゲームなどで盛り上がりを見せていました。



結の会の皆さんの踊り「長生きよさこい」と祝年者の皆さん

## 花貫自治会 新春交流会 ニュースポーツ体験や感心な子ども表彰

R8.1.11

花貫自治会（村上達男会長）では、恒例の新春交流会が1月11日に40数名の参加で行われました。この日は、「自主防災訓練」として避難・通報・消火の総合訓練や発電機・投光器の動作訓練。「コミュニティスポーツ大会」として「モルック」のニュースポーツ体験。「新春交流会」の席上では、5名の小学生を励ます『第22回感心な子ども表彰』のほか「花いっぱいコンクール」と「環境美化功労者表彰」の受賞報告や「お楽しみ福引き」なども行われました。

また、女性部特製の「豚汁」も振る舞われ、和気あいあいの中、子供たちも一緒となった地区民の親睦・交流が図られていました。

写真は消防訓練とモルックの体験



## あらたま基金で激励 中学校バドミントンで東北大会に出場の2名

12/26~28

12月26日から28日まで青森県弘前市で開催された第18回東北中学校バドミントン選手権大会に出場した千厩中学校2年の岩淵慧心（けいしん）さんと藤田亜流斗（あると）さんの2名にあらたま基金管理委員会から激励金を贈り活躍を応援しました。

同大会の結果は、初戦は弘前二中（青森）に勝利しましたが、次戦では優勝チームのふたば未来学園中（福島）に惜しくも敗れました。

また、岩淵さんは1月12日に北上市で行われた県中学校バドミントンダブルス大会にも千厩中チームとして出場し、ベスト8の結果を残しました。

二人は維新館で毎週定期練習を重ねており、今後の活躍も期待されます。



激励金を手にする岩淵慧心さん（中央）と藤田亜流斗さん（写真右）

## アイ・イー・エス・ビー I・E・S・B アンサンブルコンテスト岩手県大会で銀賞受賞

R8.1.18

盛岡市マリオスで1月18日に開かれた第46回岩手県アンサンブルコンテスト（県大会）に地区代表として出場したIESB（アイ・イー・エス・ビー）は、管楽四重奏で『レ・ミゼラブル』を演奏し、小学生の部で見事銀賞に輝きました。目標としていた金賞には一歩届きませんでした。メンバーは元気に市民センターを訪れ、大会の結果を報告してくれました。

審査員の講評も「たった4人でこんなに音楽で物語が作れるんですね！テンポ感などとても息の合ったアンサンブルでした」など今後の励みとなるものでした。

児童4人のメンバーには、あらたま基金管理委員会からそれぞれご褒美を贈り、活動を応援しています。

写真は受賞の報告に訪れたメンバー2人と「銀賞の賞状」



賞状  
銀賞  
小学生の部  
IESB  
管楽四重奏  
貴団体は第46回岩手県アンサンブルコンテストにおいて頭書の成績をおさめたのでこれを賞します  
令和8年1月18日  
岩手県教育委員会 川上 圭一